

日本脳炎罹患リスクの高い者に対する生後 6 か月からの日本脳炎ワクチンの推奨について

公益社団法人日本小児科学会
予防接種・感染症対策委員会

日本脳炎は、日本脳炎ウイルスを保有する蚊にさされることで感染します。日本脳炎ワクチンの普及と生活環境の改善により、日本脳炎患者発生は最近少なくなっていますが、毎年各都道府県で実施されているブタの抗体保有状況をみると日本脳炎ウイルスは西日本を中心に広い地域で確認されています。

現在、日本における日本脳炎ワクチンの 1 期の標準的接種時期は、初回接種として 3 歳に達した時から 4 歳に達するまでの期間に、6 日以上（標準的には 6 日から 28 日まで）の間隔をあけて 2 回、初回免疫終了後 6 か月以上（標準的にはおおむね 1 年）あけて 1 期追加として 4 歳に達した時から 5 歳に達するまでの期間に 1 回となっています。ただし、定期接種の 1 期として接種可能な時期は生後 6～90 か月となっており、希望すれば生後 6 か月以上であればいつでも接種可能です。

最近の小児の日本脳炎罹患状況をみると、熊本県で 2006 年に 3 歳児、2009 年に 7 歳児、高知県で 2009 年に 1 歳児、山口県で 2010 年に 6 歳児、沖縄県で 2011 年に 1 歳児、福岡県で 10 歳児、兵庫県で 2013 年に 5 歳児の報告があります。また、2015 年千葉県において生後 11 か月児の日本脳炎症例が報告されました。

日本脳炎流行地域*に渡航・滞在する小児、最近日本脳炎患者が発生した地域・ブタの日本脳炎抗体保有率が高い地域**に居住する小児に対しては、**生後 6 か月から日本脳炎ワクチンの接種を開始することが推奨されます。**

* 世界の日本脳炎流行地域

<http://wwwnc.cdc.gov/travel/yellowbook/2016/infectious-diseases-related-to-travel/japanese-encephalitis#4640>

** 国内のブタの日本脳炎抗体保有状況

[検索 \(niid.go.jp\)](http://niid.go.jp)

ただし、日本脳炎ワクチンの接種量は、3 歳未満で 0.25mL、3 歳以上で 0.5mL と異なりますので、注意してください。

なお、1 期接種を初回接種から追加接種まで全て 0.25mL で済ませた場合でも、免疫原性に問題がないことが確認されていますので¹⁾、標準的な 2 期接種の時期(9 歳以上 13 歳未満)までの間に、それ以上の追加的接種をする必要はありません。

日本脳炎ワクチンの接種スケジュール

	初回 1 期	初回追加	2 期
標準的な接種スケジュール	接種開始年齢:3 歳 接種回数:2 回 接種間隔:6 日以上 接種量 :0.5mL	接種年齢:3~4 歳 接種回数:1 回 接種間隔:初回免疫終了後 6 か月以上(おおむね 1 年) 接種量:0.5mL	接種年齢: 9 歳以上 13 歳未満 接種回数:1 回 接種量:0.5mL
日本脳炎罹患リスクの高い者 に対する接種スケジュール	接種開始年齢:6 か月 接種回数:2 回 接種間隔:6 日以上 接種量 :0.25mL	接種年齢:1 歳 接種回数:1 回 接種間隔:初回免疫終了後 6 か月以上(おおむね 1 年) 接種量:0.25mL	接種年齢: 9 歳以上 13 歳未満 接種回数:1 回 接種量:0.5mL

註:接種量 生後 6 か月~3 歳の誕生日の前々日まで 0.25mL

3 歳の誕生日の前日以降 0.5mL